

地域を支える



流通経済大学准教授

坂野 喜隆

日本各地で、地域住民の

移動手段の確保が深刻な問題となっている。移動手段が不十分な地域の生活交通の一つとして、小・中学生用のスクールバスに一般住民の相乗りをさせる方法（「混乗方式」「混乗化」）が検討され、これを実現した自治体もある。今回は、混乗化へと踏み出そうとしている埼玉県飯能市の事例を取り上げ、地域の連携について考えてみたい。

マイカーの普及、人口減少により、地域公共交通の利用者が年々減少し、交通需要が少なくなった地域の鉄道や路線バスが廃止されている。これらの廃止は、高齢者をはじめとした地域住民の日常生活に支障を来す。

飯能市は都心から50キロ圏

スクールバスの混乗化

ローカル・ガバメントと教育

29

本市では、スクールバスは、経費を上げることなく混乗化は、平成10年から可能であるという結論に達した。しかし、解決しなげや要望があった。殊に29年の議会では頻りに地域公共交通の手段として混乗化が一般質問で取り上げられてきた。市は、29年12月議会全員協議会で混乗化実験の報告をした。

内に位置するが、市域の約7割を占める五つの山間地域では、人口減少や地域住民の高齢化で、公共交通の維持確保、移動困難者・買

い物困難者などの課題が生じている。小・中学校の存続問題も深刻であり、遠方から通学する児童・生徒も

また、市民意識調査や市政懇談会などでも、スクールバスが運行されている全小学校区の地域住民か

地域が連携、住民の足確保へ実証実験

いるために、スクールバスが運行されている。

今年5月、飯能市の吾野小学校スクールバスでの混乗化の実証実験が始まった。

これは、平成26年3月策定の地域公共交通基本計画に「スクールバスの活用の検討」が掲げられたことが前提にある。29年9月には、地域公共交通対策協議会で、スクールバスの混乗および活用がおおむね承

承さる。変更すれば、現在のスクールバス運行区間の混乗化

は、経費を上げることなく可能であるという結論に達した。しかし、解決しなげや要望があった。殊に29年の議会では頻りに地域公共交通の手段として混乗化が一般質問で取り上げられてきた。市は、29年12月議会全員協議会で混乗化実験の報告をした。

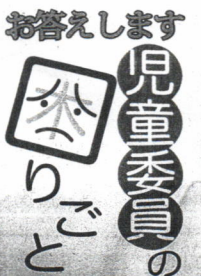
また、市民意識調査や市政懇談会などでも、スクールバスが運行されている全小学校区の地域住民か

から混乗化の要望があった。少子化の中、児童数の減少により、スクールバスに空席が目立つようになった。高齢化が進み、家族の送り迎えにそのバスを利用できないかという地域住民の意見が多かったのである。

スクールバスの運行を委託されている交通事業者と市は、地域住民の混乗の可能性を検討した。通学バス運行業務委託契約の仕様を条6条、同施行（2条）。その運営費には交付税措置

がある。そのため、タテ割り行政がイメージされるが、地域公共交通確保のため、国もある程度柔軟に対処する方針を見せている。混乗方式は、子ども優先のため、地域住民の乗車人数が限定されるなどの課題がある。一方で、児童・生徒と地域住民の間での世代間交流、登下校時の見守り、地域の足の確保などコミュニケーションの再構築につながるなどの利点がある。

飯能市では、住民意見を長年表出してきた市議会の役割が大きかった。政策を実施した市行政、それに協力する学校・企業等、ローカル・ガバンスが有効に機能している。今後、本市では、このネットワークが活用され、協働・連携意識が高まり、教育向上、地域の活性化などに波及する効果が期待される。



Q 主任児童委員をお引き受けし、1年4カ月が経過しました。児童委員の担当は0歳から18歳と聞いていましたが、まさか！と思っていましたが、本当でした！ まだうまく仕事を回せていない気がしています。

4カ月検診後に依頼されたお宅への赤ちゃん訪問から未就園児の間の子育て相談。予防接種情報、幼稚園入園情報なども必要になります。小学生、中学生の学習支援や登下校指導に保護者

A 主任児童委員 身近な相談として全力投球り、地域の日々、頭が下がる思を中心にして。ご自身のお仕えていくことにまで影響が及びます。うであるとのご相談に たくさん驚いています。 施されています。主任児童委員は民間ですが、協内の児童に関する課題を専門に担当します。相談され、一人ですべての事案することなく、一人での課題解決すね。も困難です。私たち民生児童委員は「地域のりになれ

【今回は25日付掲載】